

# 5段階警戒レベルについて

市民の皆さまが、「自らの命は自ら守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、避難情報が5段階の警戒レベルにより提供されます。日頃からいざという時に備えて、災害時のとるべき行動の確認をお願いします。



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。  
市からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。  
警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要**です。

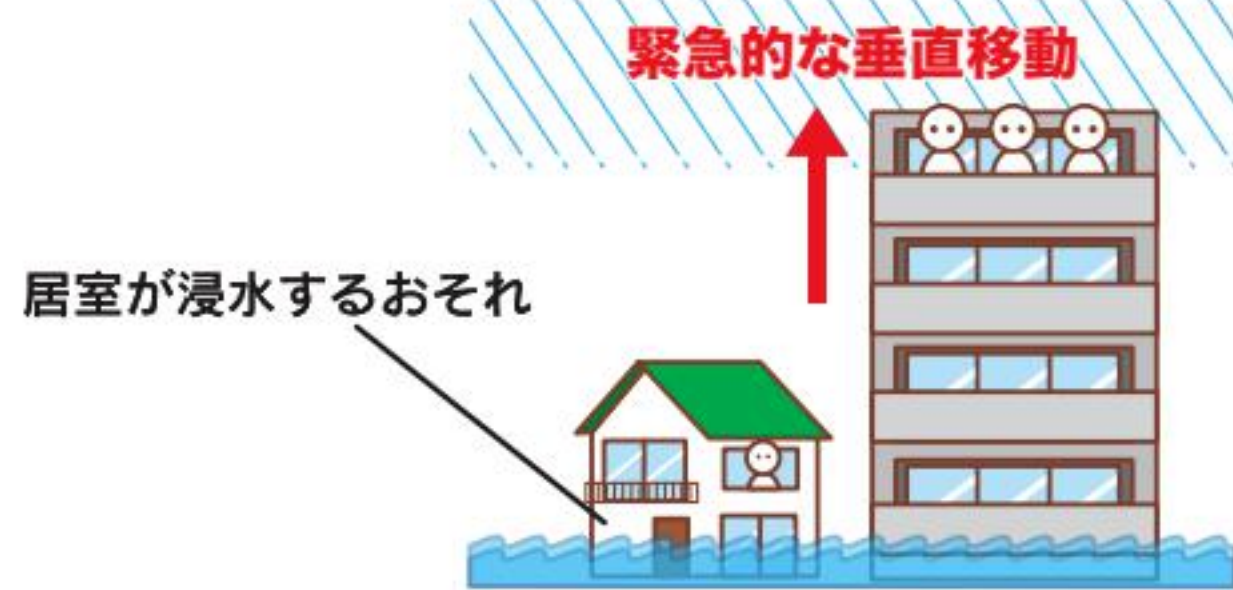
水害・土砂災害について、避難情報を5段階に整理しました。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報・洪水注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 警戒レベル5（緊急安全確保）の発令で市民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しないよう少しでも高い場所へ移動 など



居室が浸水するおそれ

**!** 土砂災害は立退き避難が原則

**土砂災害** 土砂災害の危険がある場所から少しでも離れた場所へ移動 など



※崖から離れた部屋にも土砂が流れ込むおそれ

## 警戒レベル4（避難指示）の発令で市民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しない高い場所へ移動 など



※自宅で安全確保できると自ら判断する場合は垂直移動・待避も選択可

**土砂災害** 土砂災害の危険がない場所へ移動

